

三木市記者発表資料 (令和3年12月21日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 秘書広報課	課長 正心均 (内線 2410)	広報広聴係	0794-82-2000 (内線2308・2414)

タイトル
2021年（令和3年）10大ニュースを選定 ～市政を中心として～
内容
<p>年末にあたり令和3年の10大ニュースを選定し、市民の皆さまとともに進めてきたまちづくりを振り返ります。(時系列順)</p> <p>1 コロナワクチン接種実施（2月～） 新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種を円滑に行うため、2月に「ワクチン接種対策室」を設置し、5月6日からコロナワクチンの集団接種を開始しました。国からの指示により7月末までに65歳以上の接種希望者への接種を完了するため、旧志染中学校に大規模接種会場を設置し、一日最大1,300人の接種を可能としました。65歳以上の高齢者への2回目の接種率は9月末までに90%を超え、10月末には12歳以上の接種希望者への集団接種を完了しました。【ワクチン接種対策室】</p> <p>2 永住しやすいトカイナカ（大阪圏）で2位に選ばれました（3月） 女性自身2021年3月2日号で、「永住しやすいトカイナカ（大阪圏）」で三木市が2位に選ばれました。このランキングは、6つの指標（病院数、一般診療所数、老人福祉費、小売店数、生活関連サービス業、家賃相場）を基に作成したもので、三木市は、高速道路網の発達と自然の豊かさから、田舎暮らしを楽しみながら大阪・神戸の都心部へのアクセスが良いという点が評価されました。【縁結び課】 出典：女性自身2021年3月2日号</p> <p>3 ジュニアゴルファーの“聖地化”をめざす（3月・11月） 3月には一般社団法人日本高等学校・中学校ゴルフ連盟が初めて自治体と共同開催する全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会「春高・春中ゴルフ」が、11月にはスナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木が三木市で開催されました。これらの大会を毎年三木市で開催することで「ゴルフのまち三木」の一層のブランド化を図るとともに、より一層、ジュニアゴルファーの“聖地化”をめざします。【ゴルフのまち推進課】</p> <p>4 市内初、吉川地域でデマンド型交通を導入（4月） よかたんバスに代わる新たな公共交通としてデマンド型交通（事前予約制乗合交通）を4月1日より吉川地域でスタートしました。 通院や買い物に合わせた時間を予約出来るようになり、また、自宅から目的地まで直接移動できるようになったため、バス停まで遠い方も便利になり、吉川地域全</p>

体の移動手段として、役割を担っています。【交通政策課】

5 高機能消防指令システムを更新（4月）

4月1日から高機能消防指令システムを更新し運用を開始しました。新システムではリアルタイムに情報収集するため、新たに現場映像情報伝送装置を導入。聴覚や発語に障がいのある方がスマートフォンや携帯電話を利用して119番通報ができるNET119緊急通報システムや、外国人の方からの119番通報などに対応する三者間同時通訳機能なども備わりました。【警防課】

6 吉川小学校、緑が丘中学校で新たな学校生活スタート（4月）

吉川小学校では、新しい仲間と、新たな校風づくりに取り組んでいこうといきいきと過ごしています。緑が丘中学校では、志染中学校、緑が丘中学校の生徒が、ともに力を合わせて新たな伝統を築いていくという思いのもと、新たな学校生活を過ごしています。【学校再編室】

7 大北由美教育長が就任（5月）

5月の市議会臨時会において任命同意を受け、大北由美教育長が就任しました。人生の各ステージを主体性を持って、クリエイティブに生き抜いていく人づくりをめざして、その「環境」と「機会」を整備します。【教育総務課】

8 三木市長選挙で仲田一彦市長が再選（6月）

6月6日に行われた三木市長選挙は、現職と元職が立候補し、開票の結果、仲田市長が再選しました。「子どもたちをまもる」「市民の安心安全をまもる」「地域の活力をまもる」「まちのブランド力をまもる」「三木の未来をまもる」の5つのまもるを公約に掲げ、7月2日に仲田市政2期目が始動しました。【選挙管理委員会】

9 東京2020オリンピック・パラリンピック開催（7月・8月）

三木市出身の山本俊樹選手がウエイトリフティング男子96キロ級に出場し、大奮闘されました。

また、三木市はホストタウンとして、フランスオリンピック陸上チーム、フランスパラリンピック陸上チーム、ネパールパラリンピックテコンドーチームを応援するなど、両国との絆が深まりました。【文化・スポーツ課】

10 三木市国民健康保険財政健全化計画を策定（11月）

国民健康保険特別会計は、平成30年度から3年連続で赤字決算となりました。令和3年度末の累積赤字は約4.6億円となる見込みです。この危機的な状況を脱するため、令和4年度から令和6年度までの3年間に計画期間として、国民健康保険財政の健全化をめざすため、本計画を策定しました。【医療保険課】

セールスポイント

2021年も新型コロナウイルス対応が迫られた年でした。そのようななか、各種関係団体、市民の皆さまのご協力のおかげでコロナワクチン接種が順調に進みました。また、オリンピックに三木市出身者が出場するなど、スポーツでは市民の皆さまと喜ぶことが多くあった1年でした。